



# おおくす

福平小学校だより  
2月号  
令和3年2月26日発行

こんにちは みんなにひろがる 笑顔のわ 6年 Y

## プログラミング教育の研究公開を開催！

2月4日（木）に、福平小学校がこの2年間取り組んできた「プログラミング教育」の実践の成果を公開しました。研究のねらいや成果などの詳細については裏面「コラム」をご覧ください。

### 2年創意



プログラミングに慣れ親しむために、課題を解決しながらロボットをスタートからゴールまで導けるように操作しました。



ロボットが通るコースとなるマットを床に敷き、体育館を広く使いました。失敗してもあきらめず試行錯誤するがんばりに感動！

### 4年音楽科

日本独特のメロディを学ぶ音楽の授業の中で、プログラミングを使って作曲しました。



曲はコンピュータが正確に演奏してくれます。楽器を上手に演奏できなくても作曲できます。楽器の種類もリズムも思い通りに変えられます。



### 6年理科



電気を効率よく使うために、暗く、人が近付いたときだけ外灯が点くように、2つのセンサーを使ってプログラミングしました。



「明るさ」と「人の動き」の2つの条件を論理的に考えて組み合わせました。繰り返しチャレンジする姿が見られました。



県内各地から福平小の実践を学びに多くの先生方が集まって来られました。本校児童の安全のため、健康チェックを徹底し、体調がよくない方の参加をお断りしました。



密を防ぐために、授業会場の様子を生中継で見られるサテライト会場も設けました。授業の後には、熱心な討議が行われました。

## 参加された方の感想

- 子どもたちが、よく考え、タブレットを操作し、これまで積み上げてきたことがよく分かった。
- 子どもたちの態度、雰囲気もよく、すてきだった。
- 工夫された教材が準備され、児童が生き生きと取り組んでいた。
- 子どもたちが課題に対し、何度もチャレンジする姿が、とても印象的だった。
- 児童の先生の話を聞く態度がとても良く、楽しく活動できていた。
- 時代の最先端をいく授業を見ることができてよかった。
- 子どもたちがタブレットに慣れ親しんでいることに、大変驚いた。
- コロナ禍だが、しっかり対策されていて安心して参加できたことに感謝したい。
- まるで未来の学校を見に来たような気分になった。

## 「生と死」について考える

NPO法人「がんサポートセンターがこしま」の協力をいただき、6年生がリモートでがん患者の方のお話を聞く機会を設けました。ご本人や旅立たれた方が死と向き合ったときに感じた命の愛おしさについて伺っているうちに、子どもたちは生きることについて真剣に考えている様子でした。ご家庭でもわたしたちが

「生きている」ことの意味や自他の命を大切にすることをぜひ話題にしてください。



以前より要望していた、飛沫を防ぐための透明の仕切り板が納められました。近距離での対面が避けられない理科室・家庭科室・職員室に配置してあります。

## パーティション設置

## 【コラム】

# プログラミング教育の研究公開を終えて！

2月4日、県内各地から約150人もの教職員に参加をいただき、2年間の成果を披露する研究公開を開催した。コロナ禍の状況にもかかわらず、このように多数の参加を得たのは、今年度から必修化されたプログラミング教育に対する関心が高かったこと、さらに言えば、始まったばかりの手探り状態で、本校の取組を参考にしたいとの思いがあったからであろう。

そういう参加者の熱い視線を前に、子どもたちはこれまでの学習をもとに、生き生きと、伸び伸びとタブレットを操作し、プログラムを組んでみせた。うまくいかなければ、友達と何度も試行錯誤しながら課題にチャレンジしてみせた。その使い慣れた様子は、この公開授業の時間だけがこうなのではなく、タブレットの操作やプログラミング教育が日常化し、いつもの様子を披露しているに過ぎないことを参加者に感じ取らせ、うならせるのに十分なものだった。

そもそもプログラミング教育が導入された背景には、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）等のテクノロジーによって社会や産業の形態の急速な変化がある。今後、その動きはますます加速し、やがて「人間の職業がAIに奪われる」という予測さえある。プログラミング教育は、そういう変化の激しい時代を生きることになる子どもたちに、時代を超えて普遍的に求められる力として、「プログラミング的思考」を育成することを目指している。本校の2年間の研究も、主にコンピュータを活用しながらこの「プログラミング的思考」、つまり、順序立てて論理的に考え、試行錯誤しながらねばり強く課題を解決しようとする力の育成を目指したものである。

2年間の研究によって得られた成果はいくつか挙げるができるが、その中で一つだけ挙げるとすれば、「プログラミング教育は、これからの時代を生き抜く子どもたちに間違いなく必要なものである」ということを、我々教職員が共有できたことである。折しも「GIGAスクール構想」の推進に伴って、1人1台のタブレットが配備されようとしている中、今回の公開を通過点として、「福平版プログラミング教育」を確固たるものとするべく、さらに取組を充実させていきたい。



## 令和3年3月の行事予定

日	曜	行事名	日	曜	行事名
2	火	学級PTA（高学年）	11	木	6年生とのお別れの会（特支）
3	水	学級PTA（低学年）	13	土	土曜授業
4	木	学級PTA（中学年・特別支援学級）	20	土	（祝）春分の日
5	金	6年生を送る会／お別れ遠足／下校指導	22	月	卒業式準備
8	月	ボランティア活動の日	23	火	子どもと一緒に読書の日
9	火	学校評議員会	24	水	卒業式
10	水	卒業式予行	25	木	修了式（辞任式）

※ 上記行事は、あくまでも予定ですので、週報等でご確認ください。

※ 感染症流行防止のため、行事を中止・延期・縮小する場合がありますことをご了承ください。

### 公民館利用についてのお知らせ

児童クラブ運営委員会及び校区コミュニティ協議会よりのお願いです。児童クラブの希望者が多いにも関わらず、学校周辺に適切な物件がないため、第1児童クラブを建て替えることも検討されているそうです。

このようなことから、令和3年4月～令和5年3月まで、校区公民館2階を仮の児童クラブとして利用することになる予定です。開所時間が、平日13:00～18:00及び土曜日・夏休み・冬休み8:00～18:00であることから、それ以外の時間か福祉館、校区公民館1階の利用をご検討ください。